

## フィリピン留学と SSP 違反の摘発事例（2015 年以降）

### 特別就学許可証（SSP）と法的背景

フィリピンで外国人が短期の語学研修を受ける場合、**SSP（Special Study Permit：特別就学許可証）**の取得が法律で義務付けられています<sup>1</sup>。観光ビザ等で入国した外国人でも、現地の語学学校に通うには1日でも SSP が必要であり、学校側が代理申請するのが通例です<sup>2</sup><sup>3</sup>。**SSP 未取得での就学は違法となり、発覚した場合は約 2 万ペソの罰金および強制退去（国外追放）処分が科されます<sup>1</sup>。**また、フィリピン入国管理局（BI）によれば、外国人留学生を受け入れるには学校側も BI や教育省など関係機関の認定を受けていなければならない、無認可校が留学生を受け入れた場合 **5 万ペソの罰金や外国人受け入れ資格剥奪、さらには不法就学者の庇護（coddling）**による訴追の可能性もあります<sup>4</sup>。以下、2015 年以降の主な摘発事例と、それによって生じた留学生への被害を年次ごとにまとめます。

### 2015 年：セブ島「0 円留学」インターン生の大量摘発

発生年・場所：2015 年 9 月、セブ市（IT パーク地区）

学校名・関係者：日本人経営の企業「JICC (Japan Intertrade Call Center Corp.)」。傘下に語学学校「NILS」や留学エージェントを運営し、日本人向けに授業料無料（通称「0 円留学」）をうたったインターンプログラムを展開していました<sup>5</sup>。

摘発の経緯：2015 年 9 月 11 日、フィリピン当局がセブ市内の JICC オフィスを検索し、就労ビザなしにコールセンターで勤務していた日本人学生約 **60 名**を現行犯逮捕しました<sup>6</sup>。摘発は国家捜査局 NBI 第 7 地区が主導し、労働省（DOLE）や入国管理局（BI）も協力しています<sup>7</sup>。NBI の調べによれば、学生らは労働許可証（**AEP**）を持たずに観光ビザで入国し、「6 ヶ月間の OJT 研修生」と称して 1 日 4～10 時間コールセンター業務に従事していた疑いがあります<sup>8</sup><sup>9</sup>。JICC 側は「必要な書類は揃えており合法」と主張しましたが<sup>10</sup>、当局はフィリピン労働法（大統領令第 **442** 号）違反による不法就労容疑で捜査を進めました<sup>8</sup>。

学生への被害・影響：逮捕された約 60 名の日本人留学生は一時拘束された後、**1 人当たり 1,000 ペソの保釈金を支払**い数日以内に全員保釈されました<sup>11</sup>。しかしその後も労働法違反で訴追対象となり、有罪なら **3 ヶ月～3 年の禁錮刑や罰金**、さらには有罪確定後の強制送還処分が科され得ると報じられています<sup>12</sup>。実際、本件は日本国内でも「観光ビザで労働力提供する 0 円留学は違法就労であり、過去に日本人が大量摘発・強制送還された」ケースとして注意喚起されています<sup>13</sup>。留学生たちは突然の逮捕で語学研修を中断されただけでなく、前科やブラックリスト登録によるビザの再発行拒否（再入国禁止）など将来的な影響も懸念されました。また、「無料」と聞いて参加した学生が現地で各種名目の費用を請求され、結果的に通常の留学以上の出費を強いられたという金銭被害の証言もあります<sup>14</sup>。本件に関連した語学学校 NILS 自体は公式には営業停止とはなりませんでしたが、事件後一時休校し、その後も新型コロナ下での返金トラブル等で最終的に閉校したとの情報も報じられています<sup>15</sup>。

### 2011 年（参考）：韓国人経営の違法語学キャンプ摘発

※ 厳密には 2015 年以前の事例ですが、近年の摘発強化の発端として重要なケースのため参考として挙げます。

発生年・場所：2011年1月、バタンガス州レメリイ町（Lemery）のリゾート施設「ファンタジー・ワールド」内。

学校名・関係者：韓国人経営の違法英語キャンプ（無許可の語学研修所）。韓国人児童を対象に「サマーキャンプ」と称して営業していたが、正式な学校認可やビザ許可を得ていませんでした<sup>16</sup>。

摘発の経緯：2011年1月7日、フィリピン入国管理局（BI）は当該施設を急襲し、無認可で語学学校を運営していた韓国人スタッフ6名を逮捕しました<sup>17</sup>。捜査には国家警察（PNP）や報道陣も立ち会っており、摘発時には10～16歳の韓国人学生70名が違法に宿泊・授業を受けているのが確認されました<sup>18</sup><sup>19</sup>。学生たちは必要なSSPを一切取得しておらず、学校側も営業許可を持っていなかったため、BIは施設閉鎖と関係者全員の退去命令（強制送還）を決定しています<sup>20</sup><sup>21</sup>。この摘発は韓国国外務省も「学生は被害者」としてフィリピン政府に善処を要請する事態となり<sup>22</sup><sup>23</sup>、最終的に学生154人が一連の違法校摘発で拘束（一部は追加の摘発）され、全員が1月末までに帰国する措置が取られました<sup>24</sup>。一方、逮捕された運営者14名（各地の類似キャンプを含む）はBIの収容施設で取り調べを受け、後に不法就労やビザ違反で起訴されています<sup>25</sup>。

学生への被害・影響：未成年の韓国人留学生たちはパスポートを一時押収されましたが犯罪者扱いは避けられ、フィリピン当局の配慮で施設内にて保護下に置かれたまま予定どおり月末に全員帰国することが許可されました<sup>18</sup><sup>26</sup>。それでも突然学校が閉鎖されたため、語学研修の継続不能や渡航費・授業料の無駄など大きな損失が発生しています。当時、この違法キャンプは韓国で「正規の留学プログラム」として宣伝されていたため、保護者らは支払った費用の返金トラブルにも直面しました。また、本件では一部の入管職員への賄賂疑惑も報じられ、摘発後に他の類似違法校も含めた調査が進んだ結果、SSP申請件数が急増するなど業界全体へ波及効果をもたらしました<sup>27</sup>。以降、フィリピン政府は「違法語学研修プログラムの根絶」に向け取り締まりを強化する方針を示しています<sup>28</sup>。

## その他の事例と留学生への注意喚起

摘発事例は上記以外にも、過去10年で大小いくつか報告されています。たとえば韓国人学生向けの小規模な無認可英語学校が取り締まりを受け閉鎖・国外退去となったケースや、中国人留学生を装った不法就労者の検挙事例などがあります（公式発表として顕著なものは上記が代表例です）。フィリピン入管当局は2013年にも通達を出し、外国人生徒受け入れ校は必ず政府認定を取得し、学生にはSSPもしくは適切なビザを確保させるよう再三警告しています<sup>29</sup><sup>30</sup>。認定校はBIや教育省などの承認を受けた約1,300校に上り、外国人留学生は推計4万人以上に達します<sup>31</sup>。その陰で、認可を受けずに留学生を受け入れる悪質校も存在し、「学校がSSP申請を怠ったせいで学生が摘発・強制送還される」といった被害が起き得ることが専門家から指摘されています（実際に「学校選びを慎重に」との注意喚起が日本人留学関係者の間でもなされています）<sup>13</sup><sup>14</sup>。

留学生への被害まとめ：以上の事例から、無認可校・違法プログラムを利用した場合に生じる主な被害は以下の通りです。

- ・強制送還（国外退去）・逮捕拘束：違法就学や不法就労が発覚すると留学生本人も入管法違反で拘束され、裁判後に国外退去処分となるリスクがあります<sup>1</sup><sup>12</sup>。過去には数十～百名規模での一斉検挙につながった例もあります<sup>6</sup><sup>27</sup>。前科が付いたりブラックリストに載れば、その後のフィリピン再入国や他国のビザ取得にも支障を来しかねません。
- ・金銭的損失：違法業者に支払った授業料・渡航費が返金されない、働かされたのに給与が出ない、さらに現地で追加費用を不当に請求される等のケースがあります<sup>14</sup>。結果的に留学計画が水泡に帰し、経済的損害を被る学生・保護者も少なくありません。
- ・学校の突然の閉鎖：無許可営業の語学学校は当局の摘発により即時閉鎖されるため、在校生はコースの途中で放校処分同然となります<sup>32</sup>。新たな受け入れ先探しや帰国準備を余儀なくされ、学業計画が中断し

ます。2020 年前後にはコロナ禍で倒産する学校も続出しましたが、違法校の場合はそれ以前に経営実態が不透明なことも多く、救済措置が期待できません。

- **ビザトラブル**：学校側の怠慢で SSP 申請が行われなかったり、観光ビザの延長管理が杜撰だったりすると、学生自身が気付かぬうちにオーバーステイなどのビザ違反状態に陥る危険があります。その場合も罰金や強制退去の対象となりえます。違法校ではビザ発給に必要な権限（BI からのスクール ID 発行など）を持たないため、入国管理上も非常に不安定です<sup>33</sup><sup>4</sup>。

## まとめと対策

過去 10 年のフィリピンにおける違法語学学校の摘発事例を見ると、被害に遭った留学生は逮捕・強制送還という深刻な結果や、学業・金銭面で大きな損失を被っています。フィリピン政府も取り締まりを強化し、法律上も学校・個人双方に厳しい罰則を科しています。したがって、これから留学を検討する場合は以下の点に留意する必要があります。

- **学校の認可状況を確認**：BI や教育省に正式に認定された学校かを事前に調べましょう。学校一覧や公式証明書の有無、TESDA 認定など公的機関のお墨付きがあるかをチェックします。認可校であれば基本的に SSP 取得代行が可能です<sup>34</sup>。
- **SSP 手続きの遵守**：入学後は速やかに学校を通じて **SSP** 申請を行い、**SSP** 証書を受け取って携行してください。どんな短期でも SSP は必要であり、「SSP なしでも大丈夫」と謳う学校や業者には決して騙されないようにします<sup>1</sup>。
- 「うますぎる話」に注意：「0 円留学」「インターンシップと称した無料プログラム」など、一見お得だが法的にグレーなサービスには警戒が必要です。観光ビザでの就労は違法である以上、「ボランティア」等の名目でも労働提供を要求するプランはリスクが高いと心得ましょう<sup>13</sup>。実際に過去にはそうした甘い宣伝文句につられた学生が一斉摘発される事件が起きています<sup>13</sup>。
- **情報収集と信頼できるエージェント利用**：渡航前に先輩留学生の体験談や口コミを調べ、トラブル事例のある学校を避けることも重要です。現地事情に詳しい信頼できる留学エージェントを利用し、違法なプログラムに誘導してこないか見極めることも自己防衛の一つです。

以上のように、フィリピン留学では **SSP** 取得と正規認可校の選択が留学生の身を守る鍵です。不幸な摘発事例を他山の石とし、安心・安全な環境で語学研修を行えるよう十分注意してください。

## 参考文献・情報源

- フィリピン入国管理局の発表および報道（GMA ニュースなど）：違法就学に対する罰則と学校認定の重要性<sup>4</sup><sup>29</sup>
- セブ現地留学エージェントの解説：SSP の概要と必要性、無許可就学の罰則<sup>1</sup>
- **SunStar Cebu** 紙報道（2015 年 9 月 15 日）：セブ島の日本人 60 名不法就労摘発<sup>6</sup><sup>4</sup><sup>12</sup>
- まにら新聞ウェブ報道（2015 年 9 月）：上記事件での日本人留学生全員保釈に関する記事<sup>35</sup>
- フィリピン日本人会などの情報：違法インターン留学（0 円留学）の実態とリスク<sup>13</sup><sup>14</sup>
- フィリピン共和国ソウル大使館発表（2011 年 1 月 14 日）：韓国人違法語学学校摘発に関する声<sup>32</sup><sup>19</sup>
- **Wikipedia** 英語版「Koreans in the Philippines」該当項目：2011 年レメリイ事件の詳細<sup>20</sup><sup>27</sup>

<sup>1</sup> <sup>2</sup> フィリピン留学 現地費用で必要な SSP とは 費用や注意点まとめ

<https://www.ceb21.jp/philippinesinfo/38>

3 34 セブの幼稚園とセブでゼロからの英語学習（事業に向けて編） | セブ暮らし（リトル・カレンディア）

<https://cebu-yk.com/english1800701/>

4 29 30 31 33 Immigration bureau reminds schools on special study permits for foreign students | GMA

News Online

<https://www.gmanetwork.com/news/topstories/nation/316617/immigration-bureau-reminds-schools-on-special-study-permits-for-foreign-students/story/>

5 8 9 10 11 15 35 セブの JICC コールセンターで働く日本人 60 名が逮捕！ 0 円留学の闇？ インターンは違法？ 衝撃の事件！

<https://ph-radio.travel-book.info/jicc-call-center-raided/>

6 7 12 Call center raided

<https://www.sunstar.com.ph/more-articles/call-center-raided>

13 14 0 円留学ってほんとに留学費がかからないのですか？ - Yahoo! 知恵袋

[https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q11243518566](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q11243518566)

16 17 18 19 32 WELFARE OF KOREAN STUDENTS IN ENGLISH LANGUAGE SCHOOL ASSURED, July 02, 2025 Embassy of the Republic of the Philippines in Seoul Republic of Korea

<https://philembassy-seoul.com/news/welfare-of-korean-students-in-english-language-school-assured>

20 21 24 27 Koreans in the Philippines - Wikipedia

[https://en.wikipedia.org/wiki/Koreans\\_in\\_the\\_Philippines](https://en.wikipedia.org/wiki/Koreans_in_the_Philippines)

22 23 25 26 28 Crackdown on a Language School in the Philippines View|Press Releases | Ministry of Foreign Affairs, Republic of Korea

[https://www.mofa.go.kr/eng/brd/m\\_5676/view.do?seq=309666&srchFr=&srchTo=&srchWord=ROK-New&srchTp=&multi\\_itm\\_seq=0&itm\\_seq\\_1=0&itm\\_seq\\_2=0&company\\_cd=&company\\_nm=&page=656&titleNm=](https://www.mofa.go.kr/eng/brd/m_5676/view.do?seq=309666&srchFr=&srchTo=&srchWord=ROK-New&srchTp=&multi_itm_seq=0&itm_seq_1=0&itm_seq_2=0&company_cd=&company_nm=&page=656&titleNm=)